横浜天声キリスト教会　週報　第18巻7号(No.679)　2023年2月12日

礼拝プログラム　※主の導きにより変わる事があります

黙祷　マタイ11:28 ・・・・・・・・・ 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
*賛美　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36番　あまつ御使いよ
*交読文　・・・・・・・・・・・・・・・・ 32番
*使徒信条　・・・・・・・・・・・・・・会衆一同
*頌栄　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 172番　雨をふりそそぎ
礼拝のための祈り　・・・・・・・ 成田エクレシア：朴執事　天声：小林伝道師
賛美　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 530番　病める手さし出せ
メッセージ　・・・・・・・・・・・・・・ あなたではない、このわたし・主がそれをする(イザヤ51章)
御言葉を適用する祈り　・・ 会衆一同
賛美　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 484番　こころにもだえあらば
幸せと成功の宣言文 ・・・・ 会衆一同
献金感謝の祈り　・・・・・・・・ パスター
報告　・・・・・・・・・・・・・・・・・・
*主の祈り　・・・・・・・・・・・・・・ 会衆一同
*祝祷　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ パスター

天声教会は

・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。(ヨハネ1:1、マタイ3:17、17:5)
・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。(ローマ10:10)
・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。(ローマ10:10)
・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。(第二テサロニケ3:5)

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

重荷を負うて苦労している____は、わたしのもとにきなさい。____を休ませてあげよう。わたしは柔和で心のへりくだった者であるから、わたしのくびきを負うて、わたしに学びなさい。そうすれば、____の魂に休みが与えられるであろう。わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いからである」。(マタイ11:28-30)

「荒野で呼ばわる者の声がする、『主の道を備えよ、その道筋をまっすぐにせよ』。すべての谷は埋められ、すべての山と丘とは、平らにされ、曲ったところはまっすぐに、わるい道はならされ、____は神の救を見るであろう」。(ルカ3:4-6)

目をあげて天を見、また下なる地を見よ。天は煙のように消え、地は衣のようにふるび、その中に住む者は、ぶよのように死ぬ。しかし、わが救はとこしえにながらえ、わが義はくじけることがない。義を知る____よ、心のうちにわが律法をたもつ____よ、わたしに聞け。人のそしりを恐れてはならない、彼らののののしりに驚いてはならない。彼らは衣のように、しみに食われ、羊の毛のように虫に食われるからだ。しかし、わが義はとこしえにながらえ、わが救はよろず代に及ぶ」。(イザヤ51:6-8)

メッセージ概要

イザヤ51-52章には、合計3回の「さめよ、さめよ(ウーリィ、ウーリィ)」が出てくる。ウーリィの原意は「裸にする」事、そこから「目を開ける」「寝ている状態から覚める」「伏した状態から起き上がる」という意味になる。主の栄光を輝かなくさせてしまっている「目の覆い」をはぎ取り、起き上がって行動するべき時が来ている。

最初の「さめよ」は9節で、「主の御腕(御力)」に対し「さめよ」と呼びかけている。この節の「ラハブ」は、人にはどうする事もできない海の巨獣で、特にエジプトを象徴している。エジプトはイスラエルを踏みにじって奴隷とし、蹂躙したが、主はそんなエジプトを切り刻み、10節にある通り、海の水を干上がらせイスラエルに通らせて、贖われた。それをなさった主の御腕よ。さめよ、さめよ。かの日に行われた事が、今、私達の状況に、起きますように、と宣言している。私達も、主の御腕に対し、宣言するのだ。さめよ、さめよ、と。

次の「さめよ」は、17節に出てくる。その「さめよ」は、エルサレムに対してである。エルサレムはかつて、よろめかせる杯を飲まされ、酔わされてしまった。なぜなら彼らは、主ではないものにひれ伏したからだった。

主ではないものにひれ伏すと酔わされてしまい、そうすると、特に、子どもたちに問題が起きるようになる(18-21節)。子たちは親を無視するようになり(18節)、子たちは網にかかった動物のように気を失って、街角に倒れ伏し、さらに、主の憤りととがめとに満ちてしまう(20節)。そして、敵が好き放題にするようになる。『*彼らはかつてあなたに、「ひれ伏せ。われわれは乗り越えて行こう。」と言ったので、あたかも背中を地面のようにし、また、歩道のようにして、彼らが乗り越えて行くのにまかせた*』(23節)。悩ます者が自分の背中を、あたかも地面のように、あるいは歩道のように踏み超えて行く・・・。その「悩ます者」とは、横暴な人かもしれないし、病や貧困など、太刀打ちできない状況や問題かもしれない。なぜそのようになってしまうか。それは、その者の『ひれ伏せ。われわれは乗り越えて行こう。』という言葉に、**従ってしまったから**だ。

神の民が、神ではないものにひれ伏すなら、つまり**神よりもその相手や今の状況のほうが強い、と見積もってしまうなら、その相手や状況が、その人の背中を歩道のようにして踏み超えて行く**事になる。その人は、あちこちから湧いてくる問題課題を、あちらも、こちらも背負うようになり、やがて押しつぶされてしまう。

しかし、あらゆる問題を主に持っていくなら、主が全て背負って下さる。実際、続くイザヤ53章では、主イエス・キリストが私達のあらゆる病を負い、痛みを担った事を宣言しておられる。私達は、主の御言葉に従わなかった故に、主からの怒りの杯を飲まなくてはならず、酔わされ、正しいやりくりができなくなり、ふらついて倒れる者になってしまった。しかし主は、ゲッセマネで言われた。『***剣をさやに収めなさい。父がわたしに下さった杯を、どうして飲まずにいられよう。***』(ヨハネ18:11)　ペテロはゲッセマネで、イエス様を剣で守ろうとした。ペテロとしては「イエス様のため」「主の働きのため」と思って剣を取ったが、イエス様は言われる。剣をさやに収めよ、と。他人を攻撃する剣を、あるいは、私達を攻撃して来る者に対して反撃する剣を。

剣を取る者は、剣で滅ぼされてしまう。そこでイエス様は言われる。あなたが飲むべき呪いの杯は、全部、わたしが飲む。病も貧しさも、呪いも。だから剣は収めて、全ての問題課題を、わたしに持ってきなさい！と。

私達の杯を全て主に持っていくなら、主が飲んでくださり、そして私達は十字架のそばで、安息を得る。

イザヤ51章は「わたし」という語が32回も出てくる。主が32回も、ご自身の存在を主張しておられるのだ。「わたしに聞け」「わたしの民よ」「わたしに耳を傾けよ」「わたしの義」「わたしの救い」「わたしの腕」・・・。それほど主は、何度も何度も主張しておられる。あなたではない！わたし、このわたし・主がそれをする！あなたの病、あなたのあらゆる問題、それらの解決は、わたし・主である、と。『*すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。*』(マタイ11:28)

全てを主に持って行くなら、もはや私達の背中は、歩道のように問題課題に踏みつけられる背中ではなく、主を運ぶ背中、主を届ける背中となる。そして私達は、美しい、神殿のある都「シオン」となり、もはや汚れた者が入ってくる事はなくなる。『*シオンよ、さめよ、さめよ、力を着よ。聖なる都エルサレムよ、美しい衣を着よ。割礼を受けない者および汚れた者は、もはやあなたの所に入る事がないからだ。*』(イザヤ52:1)

全てを主へと持っていき、主をお乗せする背中となって、主を届けていく私達でありますように！

お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

集会案内

主日礼拝（日曜）

日本語礼拝	11:30 開始
交わり	13～14 時
English Service	14 時半開始

日々の集会

月～金	早天祈祷会	5:00～
火・木・金	賛美と祈りの集会	13:00～
火～木	夜の祈祷会	19:00～

水曜礼拝

1 部	13:00～
2 部	19:00～

金曜祈祷会 19:00～

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6 番 B 出口を出てまっすぐ徒歩 5 分
JR・関内駅より徒歩 10 分
京急線・日ノ出町駅より徒歩 10 分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1F がファミリーマートになっております。

聖書メッセージをメールでお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

第 18 巻 7 号　　2023 年 2 月 12 日

横浜天声キリスト教会

礼拝　週報

〒231-0058　　パスター：　林和也　川合ゆきえ
神奈川県横浜市中区弥生町 2-17　ストークタワー大通公園 I-201
TEL/FAX：　045-326-6211
Homepage：　http://voice.of.christ.yokohama/
email：　ephes_03-tensei@yahoo.co.jp